

保険薬局における在宅医療への取り組み
～薬剤師間のネットワーク構築と他職種連携～

浜松市薬剤師会理事
薬局フォーリア
曾布川 美登理



訪問薬剤管理指導 (医療保険)

&

居宅療養管理指導 (介護保険)

- 在宅医療における薬剤師の役割、必要性
- 入院時と変わらない服薬管理、指導の実現
- 医師は自分が往診に行っていなくても訪問指導の指示を出すことができる。





1.初めての麻薬処方箋

～症例紹介～





症例患者様プロフィール①(病歴概略)

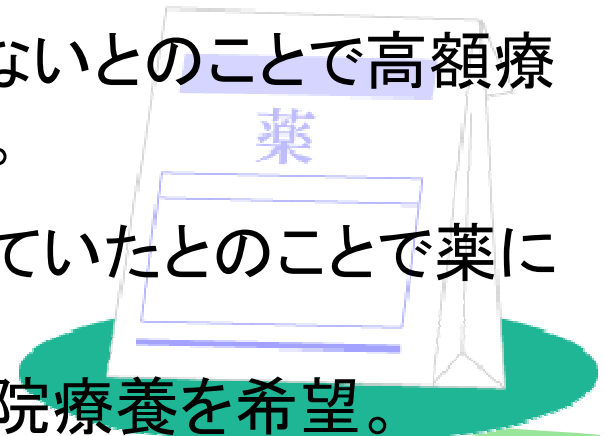
- K・Yさん 昭和34年生 (50歳・女性)
介護認定なし
- 平成20年10月 片肺の転移癌(原発不明)。
通院による抗癌剤治療。背中・腹部の鈍痛があり、
疼痛緩和ケア開始となる。下肢血栓症歴あり。
- 平成20年1月に医師から余命1年と宣告される
- 平成21年3月 両肺・脳・リンパ・副腎へ癌転
移の為入院。放射線治療実施。
- 平成21年8月 病態悪化のため入院。(疼痛・呼吸
困難・嚥下困難等)





症例患者様プロフィール②(生活背景等)

- 同居人らしき人と2人暮らし。ただ、同居人はブラジル人。薬局サイドは同居人とのコミュニケーションは困難。
- 患者様ご本人は、ほぼ独力で生活をしている様子。家族とは縁を切っており、遠方住んでいることもあり生活支援は期待できない。
- 疼痛あるが自力でバス・電車によって通院。ただ、通院後に別途、薬局へ来局することが困難であり、処方受付3回目からは、患者宅へ薬剤を宅配して欲しい旨、依頼が病院を通じて入る。自宅へ宅配し、薬剤交付を行うこととなる。
- 最終入院直前には、手持ちのお金がないとのことで高額療養費貸付金制度での支払い希望あり。
- 患者様は過去に福祉関係の仕事をしていたとのことで薬に対しての関心はある。
数度入院をして病状を保ちながら、通院療養を希望。





処方1

[1]	ワーファリン錠1mg	3錠
	モービック錠10mg	1錠
	タケプロンOD錠15mg	1錠
	内服薬 朝食後	10日
[2]	ムコスタ錠100mg	3錠
	内服薬 毎食後	10日





処方2

[1]	ワーファリン錠1mg	3錠
	タケプロンOD錠15mg	1錠
	内服薬 朝食後	7日
[2]	ムコスタ錠100mg	3錠
	ロキソニン錠60mg	3錠
	内服薬 毎食後	7日
[3]	ソセゴン錠25mg	1錠
	頓服薬 疼痛時	10回

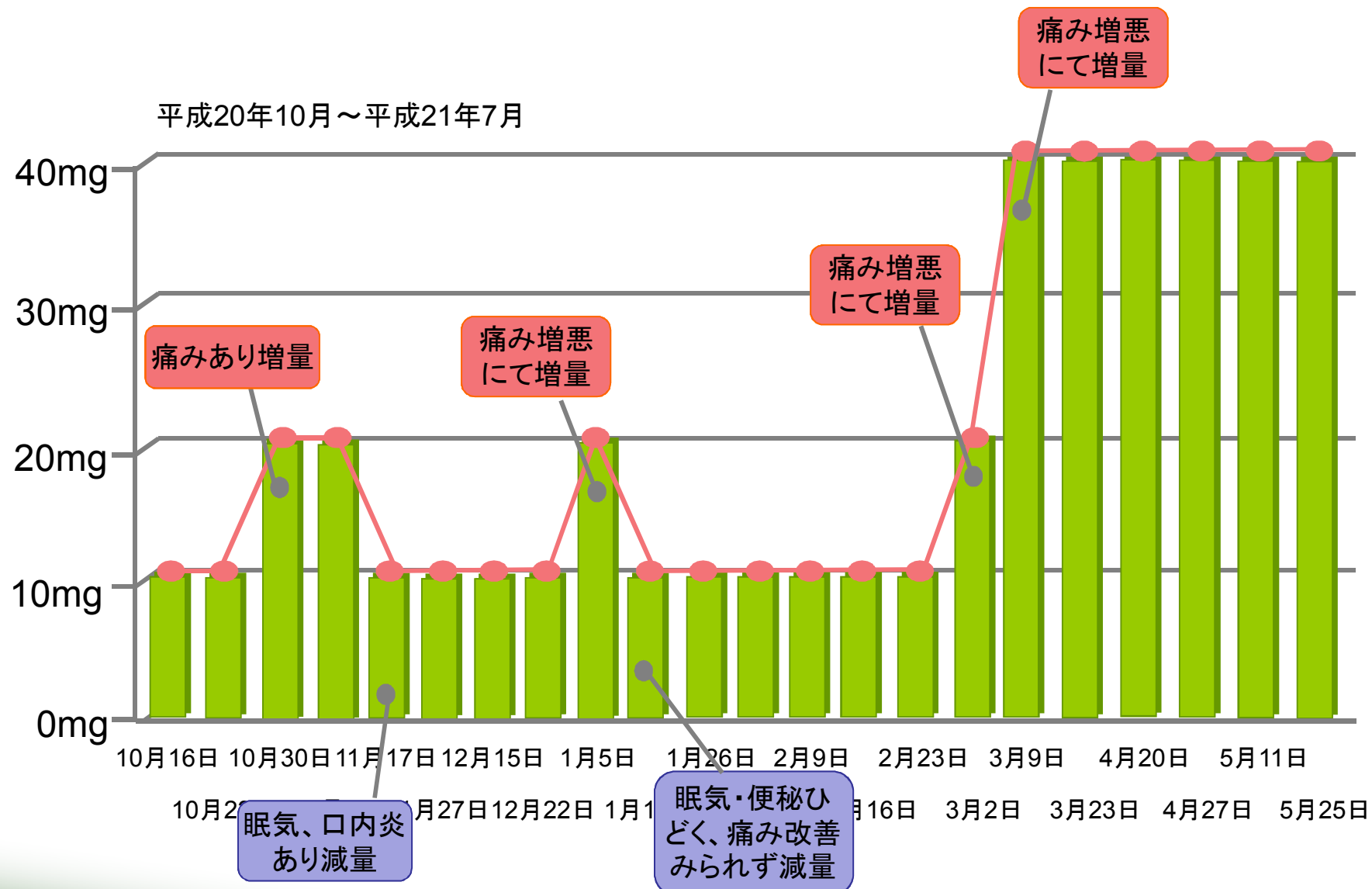


処方3

[1]	ワーファリン錠1mg	3錠
	タケプロンOD錠15mg	1錠
	内服薬 朝食後	7日
[2]	ムコスタ錠100mg	3錠
	ロキソニン錠60mg	3錠
	ノバミン錠5mg	3錠
	内服薬 毎食後	7日
[3]	ジェイゾロフト錠25mg	1錠
	内服薬 夕食時	7日
(麻)	[4]オキシコンチン錠5mg	2錠
	内服薬 12時間毎	7日
(麻)	[5]オキノーム散0.5%	0.5g
	頓服薬 疼痛時	20回



オキシコンチン錠投与量変化





処方4

[1]	ティーエスワンカプセル20mg	6錠
	トレドミン錠25mg	4錠
	内服薬 朝食後	14日
[2]	ムコスタ錠100mg	3錠
	ロキソニン錠60mg	3錠
	マグミット錠330mg	6錠
	ガバペン錠200mg	6錠
	内服薬 毎食後	14日
(麻)	[3]オキシコンチン錠20mg	3錠
	オキシコンチン錠10mg	3錠
	内服薬 8時間毎	8日
(麻)	[4]オキノーム散0.5%	2g
	頓服薬 疼痛時	28回



処方5

	[1] ティーエスワンカプセル20mg	6錠
	タケプロンOD錠15mg	1錠
	トレドミン錠25mg	4錠
	内服薬 朝食後	8日
	[2] ムコスタ錠100mg	3錠
	ロキソニン錠60mg	3錠
	マグミット錠330mg	6錠
	ガバペン錠200mg	6錠
	内服薬 毎食後	8日
(麻)	[3] オキシコンチン錠40mg	2錠
	内服薬 12時間毎	8日
(麻)	[4] オキノーム散0.5%	2g
	頓服薬 疼痛時	28回
(麻)	[5] デュロテップMTパッチ4.2mg	3枚
	外用 貼付	

疑義照会



オピオイドローテーションのポイント

ポイント1

オピオイド鎮痛剤から切り替えて使用する

【オピオイド換算】

オキシコドン経口剤30～89mg/日→デュロテップMTパッチ4.2mg

ポイント2

初回貼付後、24hrまで徐々に血中濃度が上昇(十分な効果発現まで時間がかかる)ので、1日2～3回のオピオイド鎮痛剤使用例では、貼付開始と同時に1回量を投与

デュロテップMTパッチ 貼付用量	2.1mg	4.2mg	8.4mg	12.6mg
モルヒネ経口剤mg/日	<45	45～134	135～224	225～314
オキシコドン経口剤mg/日	<30	30～89	90～149	150～209

ポイント3

今回の例では、医師に疑義照会の結果、オキシコンチン錠とデュロテップMTパッチを当面は併用し疼痛管理を実施

参考:デュロテップMTパッチ添付文書

さらなる緩和医療への取り組み

(在宅緩和ケアへの考察)

- 在宅療養中の薬剤服薬状況の細やかな確認(残薬、頓服服用回数の把握)
- 体調チェックシートを活用した、薬効・副作用状況の把握、評価の実施

様式例

お薬チェックシート

日付	お薬の名前	使用した時刻	使用回数
12/1	オキノーム散	3時、9時、15時	3回
12/8	オキノーム散	12時、20時	2回
12/15	オキノーム散	9時、16時、22時	3回
・	・	・	・
・	・	・	・
・	・	・	・

様式例

体調チェックシート

日付	痛み	排便	吐き気	眠気	備考
12/1	0・1・2・3・4	あり・なし	あり・なし	あり・なし	
12/8	0・1・2・3・4	あり・なし	あり・なし	あり・なし	
12/15	0・1・2・3・4	あり・なし	あり・なし	あり・なし	
・	・	・	・	・	・
・	・	・	・	・	・
・	・	・	・	・	・

- 収集した情報の医師への伝達
- 在宅訪問指導ができれば、より充実した在宅緩和医療に薬剤師も貢献できるのではないかと



2.「P浜ねっと」依頼による 在宅訪問症例報告

浜松市薬剤師会 在宅介護委員会
中央ガイド薬局 倉地毅





症例背景

- 医療機関 : Sクリニック
- 依頼者 : 看護師H氏
- 患者 : 70歳代 男性
- 住所 : 浜松市西区舞阪町
- 介護度 : 介護保険未申請
- 診断時情報 : 膵臓癌末期。オキシコンチン服用による疼痛管理を実施。レスキュー薬はオキノームを服用。その他、ステロイド薬を内服。



処方(訪問1回目)

平成22年5月18日交付 5月20日調剤 同日PM4:38在宅訪問

- | | | |
|------|--------------|------|
| Rp1) | リンデロン錠0.5mg | 4T |
| | 1日2回 朝・昼食後 | 7日分 |
| Rp2) | ナイキサン錠100mg | 3T |
| | 1日3回 毎食後 | 7日分 |
| Rp3) | オキノーム散0.5% | 1g |
| | 疼痛時 | 20回分 |
| Rp4) | オキシコンチン錠10mg | 1T |
| | オキシコンチン錠5mg | 1T |
| | 1日1回 朝食後 | 7日分 |
| Rp5) | オキシコンチン錠20mg | 1T |
| | 1日1回 就寝前 | 7日分 |



処方(訪問2回目)

平成22年5月25日交付 5月26日調剤 PM1:52訪問

- | | | |
|------|--------------|------|
| Rp1) | リンデロン錠0.5mg | 4T |
| | 1日2回 朝・昼食後 | 7日分 |
| Rp2) | ナイキサン錠100mg | 3T |
| | 1日3回 毎食後 | 7日分 |
| Rp3) | オキノーム散0.5% | 1g |
| | 疼痛時 | 20回分 |
| Rp4) | リボトリール錠0.5mg | 0.5T |
| | 1日1回 夕食後 | 7日分 |
| Rp5) | オキシコンチン錠10mg | 1T |
| | オキシコンチン錠5mg | 1T |
| | 1日1回 朝食後 | 7日分 |
| Rp6) | オキシコンチン錠20mg | 1T |
| | 1日1回 就寝前 | 7日分 |

追加



処方(訪問3回目)

平成22年5月29日交付 同日調剤 同日午後1:52訪問

- | | | |
|------|--------------|-------|
| Rp1) | ハイペン錠200mg | 2T |
| | 1日2回 朝・夕食後 | 9日分 |
| Rp2) | タケプロンOD錠15 | 1T |
| | 1日1回 朝食後 | 9日分 |
| Rp3) | グルファスト錠10mg | 3T |
| | 1日3回 毎食直前 | 9日分 |
| Rp4) | アセトアミノフェン | 3. 2g |
| | 1日4回 毎食後・就寝前 | 10日分 |
| Rp5) | アモバン錠7.5 | 0. 5T |
| | 1日1回 就寝前 | 4日分 |
| Rp6) | マグラックス錠500mg | 3T |
| | 1日3回 毎食後 | 6日分 |

(次ページへ続く)



処方(訪問3回目)

Rp7)	リンデロン錠0.5mg 1日2回 朝・昼食後	4T 11日分
Rp8)	ナイキサン錠100mg 1日3回 毎食後	3T 1日分
Rp9)	オキノーム散0.5% 疼痛時	1g 30回分
Rp10)	オキシコンチン錠5mg 1日1回 午前8時	1T 13日分
Rp11)	オキシコンチン錠10mg 1日1回 午後8時	1T 13日分
Rp12)	オキシコンチン錠20mg 1日1回 夜	1T 13日分
Rp13)	リボトリール錠0.5mg 1日1回 夕食後	1T 15日分

(処方薬以上)



処方(訪問3回目疑義照会)

Rp7)	リンデロン錠0.5mg 1日2回 朝・昼食後	4T 11日分
Rp8)	ナイキサン錠100mg 1日3回 毎食後	3T 1日分 ⇒ <u>10日分</u>
Rp9)	オキノーム散0.5% 疼痛時	1g 30回分
Rp10)	オキシコンチン錠5mg 1日1回 午前8時	1T 13日分
Rp11)	オキシコンチン錠10mg 1日1回 午後8時 ⇒ <u>午前8時</u>	1T 13日分
Rp12)	オキシコンチン錠20mg 1日1回 夜 ⇒ <u>午後8時</u>	1T 13日分
Rp13)	リボトリール錠0.5mg 1日1回 夕食後	1T 15日分



3. 多職種連携を活用した 在宅訪問に関する症例

レモン薬局三方原店
在宅・緩和医療室 前堀直美



薬剤師からみた退院カンファレンス参加時のタスク

他職種との間ですり合わせるべき「決めごと」

基本事項

- ①病状・予後と患者理解
- ②今後の生活目標
- ③緊急入院条件
- ④在宅の情報責任者の決定

服薬関連事項

- ①一般的事項（アレルギー歴etc）
- ②すぐ準備すべき薬品・物品
- ③HPN（交換作業、家族指導の継続 etc）の役割分担
- ④服薬プラン＝退院時プラン（頓用薬使い分け etc）＋変更プラン
- ⑤本人の希望事項（眠気・便秘は避けたい etc）
- ⑥モニタリング（服薬関連の first call を誰にするか）





【症 例】69歳 男 胃癌 stageIV (切除不能癌)

- 予想予後：数週間
- 変動が想定される症状：急性疼痛、嘔気・嘔吐、転倒
- 介護保険認定：要介護5
- **疼痛管理**：フェンタニルパッチ2.1mg
レスキューとしてアセトアミノフェン坐薬400mg(200mg×2個
4時間以上あけて)でコントロール安定
- **栄養**：中心静脈栄養 エルネオパ1号1000ml+生食500ml
(高K血症への対応のため)
ヌクレオチド酢酸塩100μg21A+生食231ml 1週間持続投与
(携帯用ディスポーザブル注入用ポンプにて)
- **薬剤師訪問計画**：週1回(ポンプ交換前日) + 緊急処方時
- 急変時蘇生処置：行わない
- 緊急時連絡先：訪問看護ステーション (→在宅医)

退院カンファレンス時の確認事項



退院後の経過

- 疼痛悪化に対してフェンタニルパッチを1週毎に増量したが（2.1→4.2→8.4mg）、レスキュー頻度も減らず。
- 同時期に患者家族から高額な薬剤費の悩みの相談あり。



以下の2点を在宅主治医に提案し、実施された。

- ①ヌクレオチド酢酸塩⇒ブチルスコポラミン臭化物＋メトクロプラミド
定期へ変更

エルネオパ＋生食：ヌクレオチド酢酸塩2100μg（携帯用ディスポーザブル注入用ポンプ使用）

→ 80820 円／週：11545／日

エルネオパ＋生食＋ブチルスコポラミン臭化物＋メトクロプラミド → 8250 円／週：1178／日

フェンタニルパッチ減量＋レスキュー使用のアセトアミノフェン坐薬の増量（600mg坐剤薬局内製剤）の定期使用（12時間毎）

フェンタニルパッチ8.4mg 2180円（1日換算）＋アセトアミノフェン坐 200mg10個 320円→2500円／日

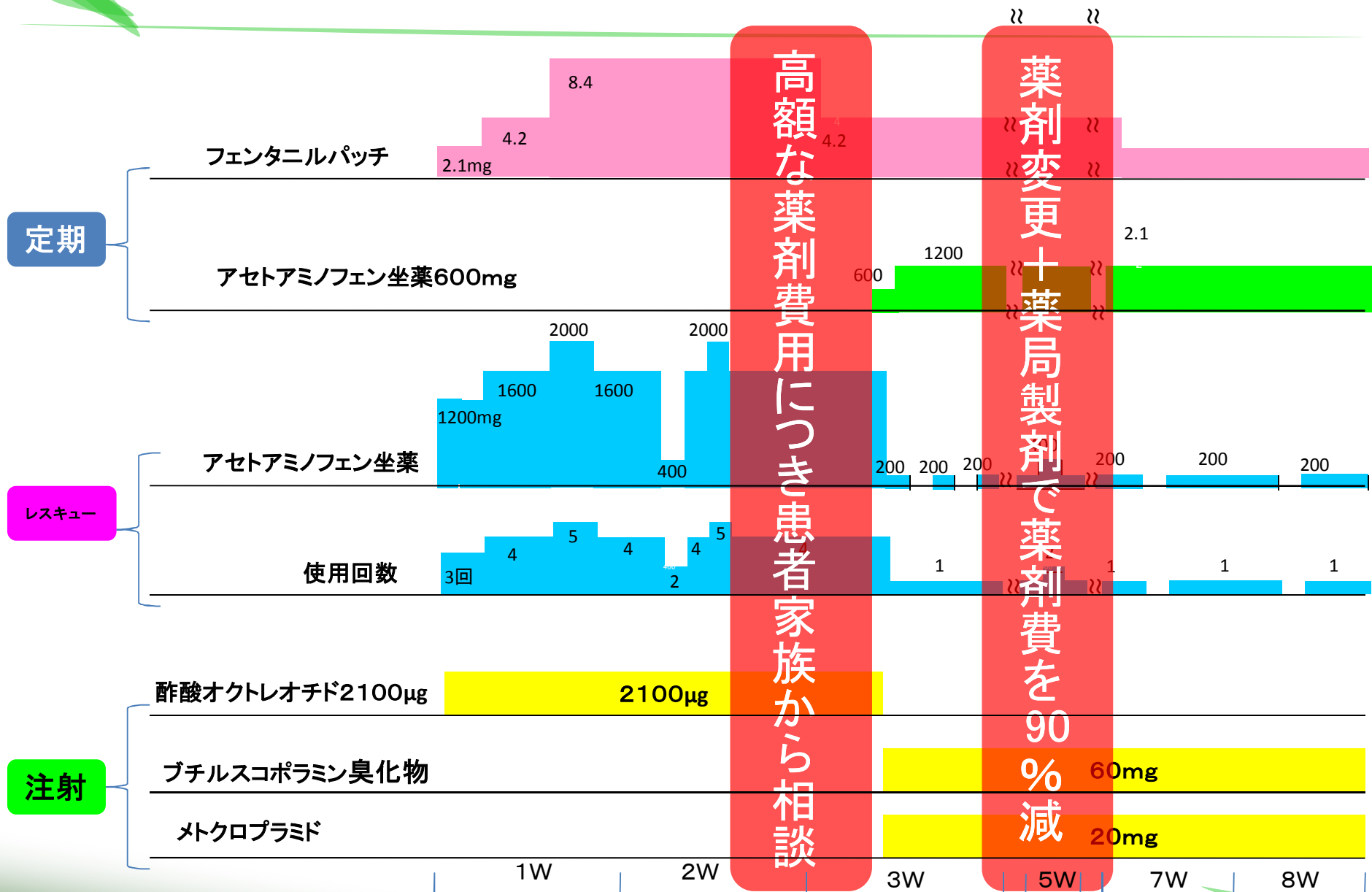
“ 2.1mg 642円（1日換算）＋ “ 坐 600mg 2個 10円→ 652円／日

以後、症状悪化もなく、精神的要因でホスピス入院に至るまでの約1ヵ月半、自宅で安定状態を維持できた。



退院後の経過

【退院後の経過】





症例を振り返って

● 患者ニードに対応できた点

患者家族の低コストに対する要望と緩和レベル維持の両者を満たす処方変更ができたこと。

● 反省および再認識した点

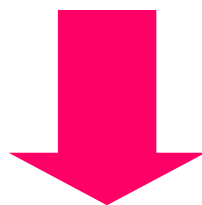
踏を
「Home」だからこそ気軽に自分のニードを表出できるという面に、在宅ケアの意義と広い視野で見守ることの重要性を改めて感じた。

★今後も症状緩和効果の高い新規薬剤が発売・導入されることは大いに期待される一方で、在宅移行の際には本症例と同様のジレンマを伴う可能性についても念頭に置き、患者家族とコスト情報交換を早期から進めることが望ましいと感じた。



服薬ケアにおける患者目標の達成率をさらにあげるために

問題点・反省点を **多職種** で共有する



本症例のケアに携わった病院・地域双方の**多職種**が
集まり **Death カンファレンス**をおこなった……。



Deathカンファレンス



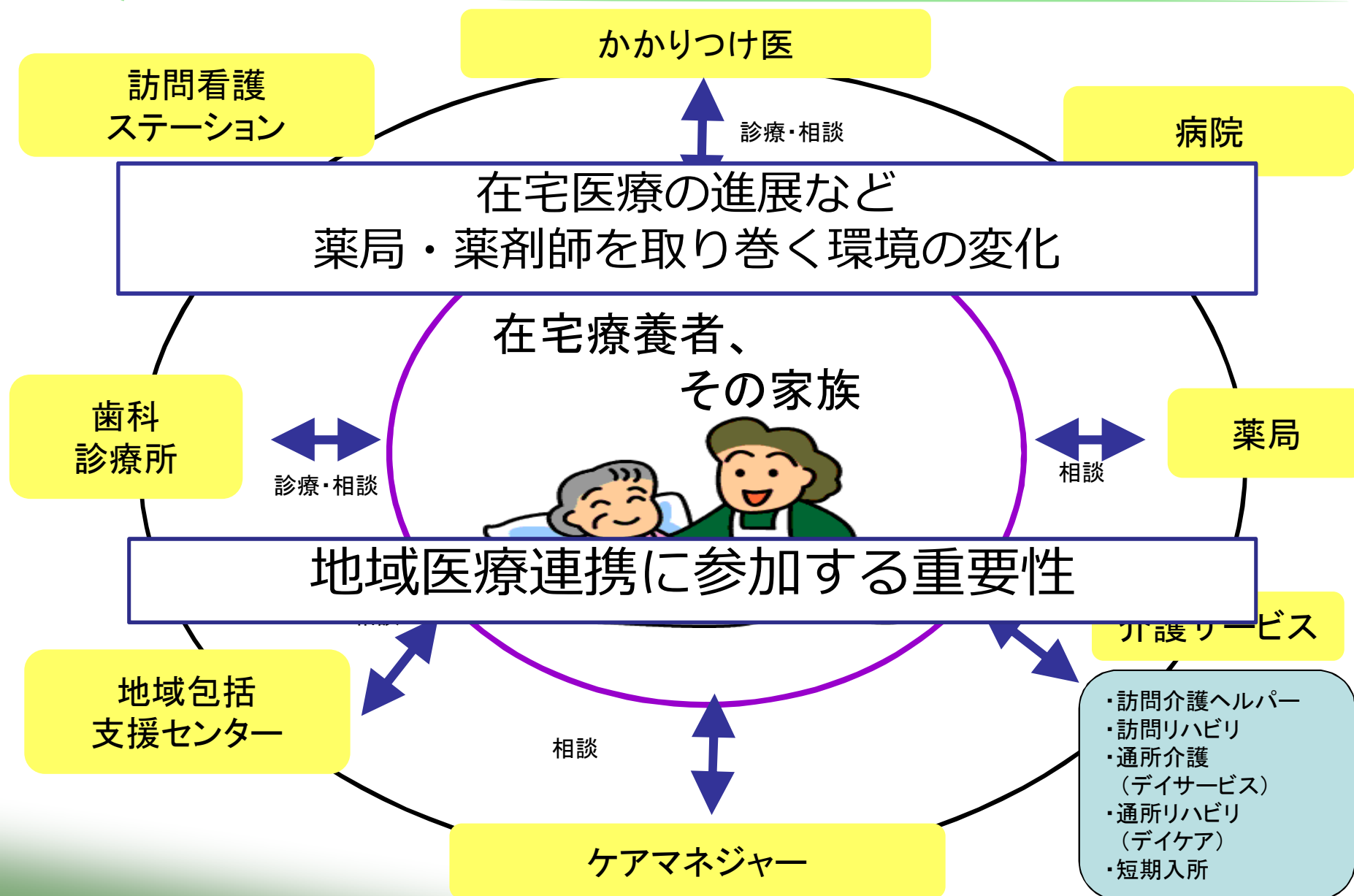
- 診療所 Dr 「点滴ひとつとっても、病院と同じ環境で・・・というのは在宅では難しいこともある」
- 訪問 Ns 「薬の値段がよくわかった。日中一人で寂しそうだったから最後はホスピスで過ごすことができてよかった・・・」
- ケアマネ 「最小限のコストでという要望で訪問看護師にも頻回にケアプランに入ってもらえずプランを立てるのに苦労した」
- 病棟 Ns 「とにかく早く自宅に帰りたいという訴えに対して時間のなかで対応したので退院後の様子が気になったが自宅での様子が聞けてよかった」
- 病棟 Dr 「最善の治療という事で薬を選択しているのにこんなにコストの差があるのか・・・知らなかった」



4.P浜ネットについて ～浜松市薬剤師会在宅支援ネット～



在宅医療を支えるネットワーク





医師会からの要望

● 在宅医療をおこなっている医師



● 在宅患者の服薬指導をしてほしい



● どこ施設・窓口にも、誰に依頼していいのかわからない



● 訪問指導を依頼できる薬局の名簿があれば・・・



薬剤師側の課題・問題点

- 「一人薬剤師」なので対応できない
在宅訪問指導の経験がない・・・



- 在宅の受け皿となる窓口、取り組みの必要性



- 長崎Drネット・P-ネットの活動内容について知る



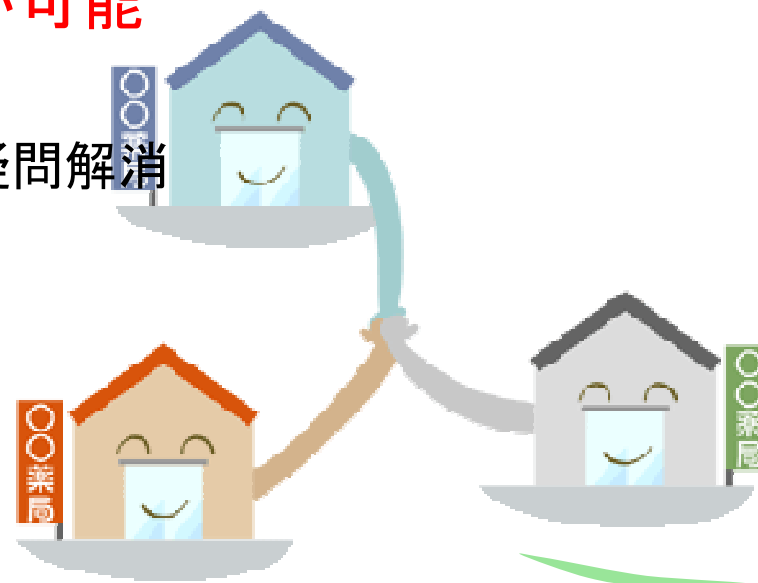
- 在宅に協同して取り組むネットワークを作ろう！



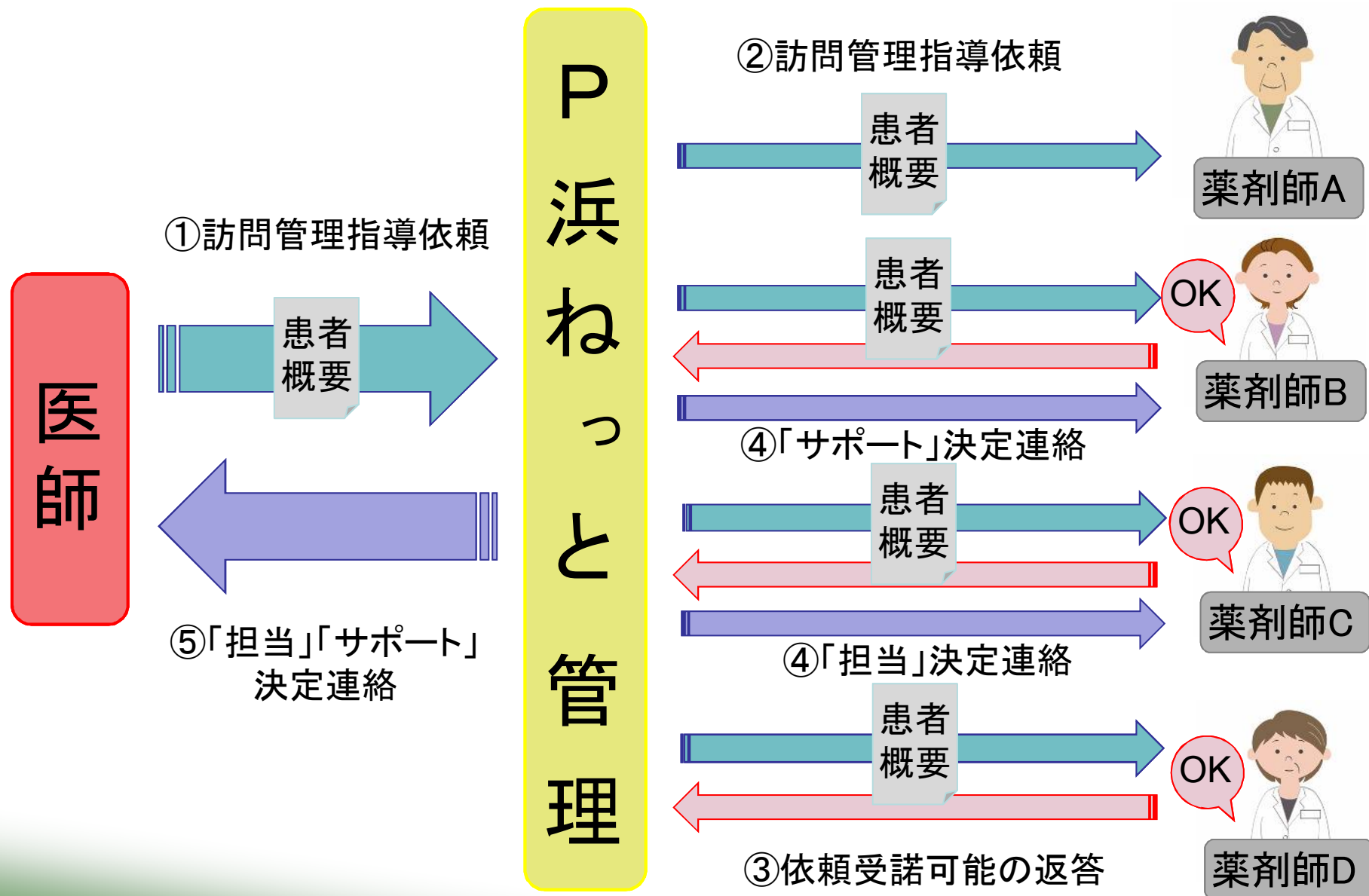
浜松市薬剤師会在宅支援ネット(P浜ねっと)の誕生

目標 “力を合わせれば一人薬剤師でも訪問指導へ行ける”

- ・**メーリングリスト**を活用した**手上げ方式**で訪問薬剤師を決める
⇒ **自分で自信が持てるまで参加しなくてよい**
- ・**担当薬局薬剤師**と**サポート薬剤師**を決める
⇒ **一人薬剤師でも緊急時の対応が可能**
- ・**メーリングリスト**で在宅に関する不安や疑問解消
⇒ **初めてでも対応OK**
- ・毎月1回研修会を実施
⇒ **薬剤師としてのスキルアップ**



担当・サポート薬剤師決定までの流れ





P浜ネット活動手順

わからないことがあったら・・・

ポイント1

「お助けメーリングリスト」

メールでわからないことの相談、活動状況の報告など
P浜ネット会員同士の相互連絡ができる！

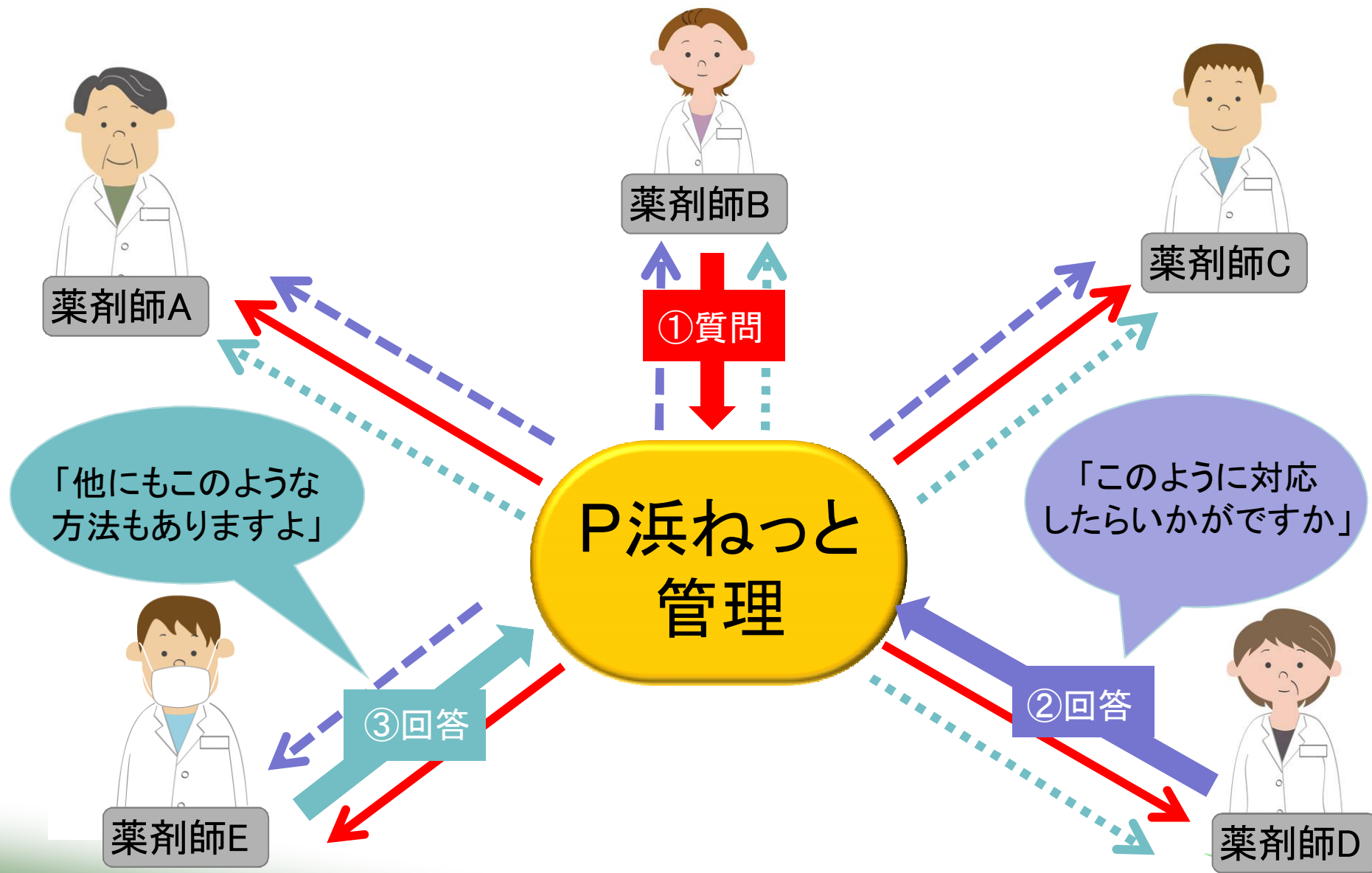
ポイント2

在宅療養指導に必要な書類や保険請求方法などの
不明点については、在宅介護委員会がフォロー



メーリングリストの流れ

わからないことがあったら...



《 P浜ネットまとめ

- ・一人薬剤師でもやる気があれば・・・
- ・初めてでも、相談する人がいれば・・・
- ・時間がないと思っている人でもコツを聞けば・・・

在宅訪問指導へ行くことで、患者様の生活が見える

→薬局での服薬指導にきっと役に立つ！



薬薬連携

入院・退院移行時の 病院薬剤部と調剤薬局の連携

【調剤薬局】



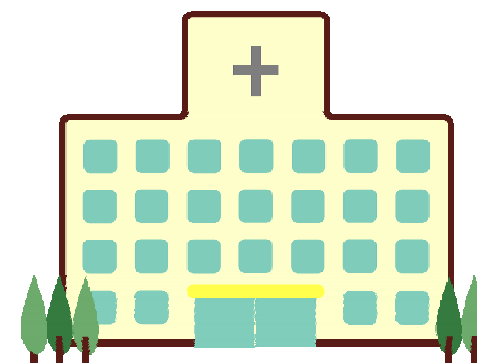
今までの処方内容、副作用歴、服用状況等について情報共有

(入院時)



(退院時)

【病 院】



退院時処方内容、疾病名、病状(進行状況)等の情報共有



多職種連携

- 薬の専門家として頼られる薬剤師
- 薬物療法を通じた質の高い在宅介護実現への貢献（連携による相乗効果）
- 薬剤師の職能を在宅の場で発揮することはコメディカルへのアピールとなる
- 調剤室から地域へ活躍の場を広げ医療へのかかわりを深める





ご静聴いただき、ありがとうございました。

